

「人の役に立ちたい」——初心つらぬき3期12年 これからも市民の暮らしを守るため全力

市議会議員として3期12年間、市民のみなさんの役に立ちたいと、日々活動してきました。

すぐに立ち止まって話ができるよう、普段は車を使わず、自転車と徒歩で移動しています。そうやって地域のみなさんの要望を聞こうと心がけています。

これからも、みなさんのお役に立つよう、精いっぱい努力する決意です。ひきつづき市政で働かせてください。

日野市議会議員

大高 哲史
おおたか てつし **日本共産党**

明るい日野

日本共産党日野市委員会の見解を紹介します。
2018年1・2月号外 日野市石田427-10 小林功一



安倍首相の憲法9条改憲ストップ

ご意見・ご感想をお寄せください

電話 042-582-0505 FAX 042-843-3212

みなさんのねがい届け 力をあわせ 市政を動かす

大高哲史議員を先頭に日本共産党市議団は、市民の暮らしの現場からの声を大切に
して活動にとりくんできました。



公園のリアルな実態示し追及、 「あつてはならない」市長も反省。

「公園の遊具が知らない間に撤去された」こんな声からとりくんだ市内の全公園調査。大高議員は、数字の上での確認だけでなく、実際に現地に足を運んで自分の目でたしかめることを大切にしました。

「これで子どもたちが遊びなくなる公園なのか」との大高議員の問いかけに、市長も「耳の痛い思い」「本来：あつてはならない」と答えざるをえませんでした。

大高議員は、日野市の「公園遊具修繕計画」が、毎年、新設5基、撤去10基となっており、これでは遊具が半減することも指摘。「地域の市民のニーズを聞きながら、柔軟な対応を進め」と



大高議員がつけつけた現場の実態

タイヤ部分が撤去され、フレームだけがそのまま残されていたタイヤブランコ。

いう答弁もひき出しました。

大規模学童クラブを訪問実態調査 つめこみ解消・安全対策もとめる

大高議員は、市内の大規模学童クラブの訪問調査も実施。

現場の実態にもとづき、児童数の多い学童クラブでは、子どもの「声」の反響もただ事ではないことや、トイレをはじめとする設備環境の問題もあわせて、市議会で追及しました。

市長は「申し訳ない」と述べるとともに、「現場を見ているかと言われれば見ていない。学童をそういった目で見に行っていないので、行って自分の目に焼き付ける」と答弁。個別の問題についても「改善にとりくむ」と述べました。



大高議員がつけつけた現場の実態

耐震診断もされないままの建物が、学童クラブとして使われていました。梁にはひび割れも。

力をあわせてストップさせよう 値上げ・有料化大計画

日野市は、「第5次行財政改革」をすすめるための具体化となる「実施計画」を公表しました。



そこには、値上げや有料化、サービス切り下げの検討項目がずらり。「ゆりかごから墓場まで」という福祉の充実を表現する言葉がありますが、それとは真逆に、まさに市民生活のありとあらゆる場面から収奪するようなどんでもない「値上げ・有料化大計画」です。

ご一緒に声をあげ、値上げ負担増計画にストップをかけましょう！

値上げが検討されているおもな料金

駐輪場・駐車場利用料／市民農園使用料／市営駐輪場利用料／プラごみ処理手数料／八ヶ岳高原大成荘利用料／市営墓地使用料・管理手数料／中学校校庭の夜間照明使用料／非紹介患者初診加算料／保育園・幼稚園保育料／学童クラブ費／国保税……

*地区センターの有料化も検討されています



議員活動の原点

議員になったばかりの頃、「高幡台団地73号棟問題」がおきました。

耐震強度不足を理由にURが一方的に取り壊しを決定し、250世帯が住み慣れた「わが家」とコミュニティを奪われた前代未聞の事態。

「どうしたらよいのか不安でたまらない」という住民のお宅を1軒1軒を訪ね歩き、「人々の暮らしを守る」ということの意味を痛感した経験は、私の議員活動の原点です。

大高 哲史

調査好き・ちみつな計画 そしてチョットこだわり性



ワイシャツのアイロンがけはいつも自分で

議員になるまで「背広」というものを着たことがありませんでした

「議員にふさわしい背広とは？」と熟慮を重ねたすえ、経済性と自分の体型も加味して、イージーオーダーがいちばん合理的だと考えたとのこと。ファッションでもけっこう理論派。



実物をぜひ見ていただきたい水色の宣伝カーです

「こだわり」の宣伝カー
昼も夜も考えて、お酒もやめる

もともとのクルマ好き。最近初めて自分の宣伝カーを買うことになり、寝ても覚めてもクルマのことばかり。気がつくと晩酌する習慣もなくなっていたというほどの熱中ぶり。

おおたか てつし 大高哲史



32年つとめた大先輩の跡を継ぎ
市議会議員に

いまから12年前、8期32年間つとめてきた先輩議員（竹ノ上たけとしさん）の後継者として市議選に出たのがちょうど32歳のとき。それまで人にこんなに求められたことはなかったの、やるしかないと決意しました。

バイトでお金を貯め、高校在学中に免許とマイカーを取得

「免許を取れる歳になったらすぐには買えるように」と、中学生のときから貯金を始め、高校生のときにはバイトもして必要な額を貯めていた、という驚くべき計画性の持ち主。

こんな人

日野生まれの日野育ち。日野を愛する気持ちは誰にも負けません！

保育園、小・中・高もずっと日野。じつは生まれてから日野以外には住んだことがありません。自動車が大好きで、自動車に関わる仕事がしたいと専門学校を出て自動車钣金工に。



この頃には頭の中はクルマのことで一杯



小学生のときは少年野球チームでも活躍



「週刊ごんにちほ!」

まちの声、議会の動き、毎週伝えて524号

市議に初当選した2006年から発行を続け、今年で13年め。毎週のニュース作成はたいへんですが、議会で訴えてきたこと、市政の大事な問題を、地域の方に語りかけるように書くことを心がけています。

大高哲史のお約束

- シルバーパス取得時の負担軽減、モノレールでも使えるように
- ミニバスの増便、ワゴンタクシーの土曜・日曜運行を
- 保育園待機児を本当にゼロへ
- 旧高幡台小・旧百草台小の耐震対策
- 学童クラブの増設・分設すすめ大規模学童解消へ
- 国民健康保険税・ごみ袋の値下げ
- 年金で入れる特養ホームの増設
- 家賃補助制度の拡充と、UR団地へも適応を
- 地下壕埋め戻しの早期完了、斜面地などのがけ崩れ防止対策

寄せられた声ただちにとりあげ 地域のみなさんに役立つ議員に

「散策コースで道に迷った人がいる」という話を聞き、調べてみるとあきらかに間違った方向を示しているものが…。大高さんは議会できりあげ、市の担当課が点検・修繕を開始。

1年近くかかりましたが、46本ある道標のうち、修繕が必要と判断された14本の作業が完了しました。

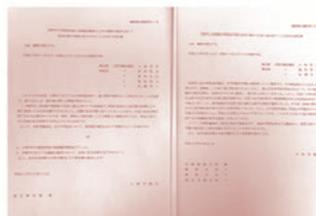
七生緑小近くのこわれた配電盤を補修させ、通学路の安全を確保

近所の方から、「通学路にある電気装置が壊れている。事故になる前に早急に修理してほしい」とメールをもらい、ただちに市に補修を要請。修理と塗装が完了し、通学路の安全が確保されました。



地下壕・斜面地など、がけ崩れ防止対策を

三沢の崖崩れ事故後の安全対策と、特殊地下壕対策を一貫して求め続けています。地下壕の埋め戻し工



「日野市三沢地域の特殊地下壕を政府の責任で早期に埋め戻すことを求める意見書」

事では市議会では「意見書」を提案。全会一致で可決し、政府に提出することができました。

言ったことをすぐにやってくれる大高議員は、まえにちょこっと話したことでも「あれはこうなりましたよ」と応えてくれるので、気さくで頼りになります。

小舟秀雄さん（百草団地在住）



市民にとっても
このまちにとっても **かけがえのない人**

大高哲史さんをこんども市政に

一緒にたたかってくれた

73号棟の問題では、最後まで一緒にたたかってくれた大高さん。今後も市政で、私たちの声を日野市に届けてもらいたい。

吉津 征範さん（高幡台団地在住）

自治会役員としても頼りになるから

団地の自治会役員として一緒に活動していて、とても頼りになる大高さん。さらに市民のために、引き続き活躍を期待しています。

平澤 慶子さん（百草団地在住）

有料化ストップのために

市の第5次行革は、みんなが集い健康と幸せを創り出す地区センターまで有料化するというもの。こんな市民泣かせの計画をストップさせたいから、市民の立場でがんばる大高さんにひきつづき働いていただきたいと思います。

名取 潮子さん（程久保在住）



大高哲史 🔍

プロフィール 1973年百草団地生まれ。都立日野高校卒。専門学校卒業後、自動車板金会社を経て、2006年から日野市議会議員。市議会健康福祉委員長などを歴任。現在、民生文教委員長、議会運営委員、農業委員。子育て・教育・福祉分野の充実のために力をつくす。住みよい団地づくりのために自治会の役員として皆さんと一緒に行動。最近夢中になっていることはアイロンがけ。

大高哲史の活動地域

高幡台団地、百草団地、日本信販住宅、百草の一部、三沢3・4・5丁目、三沢の一部、程久保、高幡（京王線南側）